

ベルギーニュース

実質中学校入学試験？

6/16-21に行われたフランス語圏のCEB(基礎学力診断テスト、小6対象、合格者のみ中学校に進学できる)は、毎年不合格者増で話題となっている。昨年の91.18%に対し、2017年は85.5%の生徒が合格した。具体的には、フランス語は昨年74%に対し70.3%、算数は73%に対し70.7%の生徒が合格した。フランス語は筆記による表現が難問となっており、これは全ての学科にも影響すると担当者は悲観している。さらにCEBIに合格した生徒でも、2年後に行われる中2の学力診断テスト(CE1D)で、失敗するケースがあるという。今年の試験は、2試験の一貫性を重視し慎重に行われたので、多くの学生のテスト結果を見て今後を分析することができると説明した。



テロ事件

6/20、21h前にリュックサックを持った男がブリュッセル中央駅で爆弾を爆発させた。軍隊に取り押さえられた犯人は、その後死亡したが、麻薬で取り締まりを受けたことのあるOussama Zariouh(36歳)であることが分かった。自宅からタクシーでメトロの駅に行き、そこから地下鉄で中央駅まで爆弾を持って移動していた。幸運にも犯人以外被害者はなかったが、中央駅は一時進入禁止となり、国鉄の定期券を持っている乗客は無料でブリュッセル公共交通機関STIB/MIVBを利用できた。

夏の風物詩

アントワープ郊外のBoomで2週間開催されたエレクトリック音楽祭のTomorrowlandは、7万人の観衆を集め、7/21にはフィリップ国王とマチルダ王妃も会場を訪れた。期間中男性一人が病院に運ばれたが、麻薬などを常用していたわけではなく、大きな問題もなく終了した。ただ、金曜日に入場禁止区間に入り、客を待ち受けていたタクシー運転手5人が、また日曜日には12人が業務過失でフェスティバルが終わる7/31まで車を保管された。

ベルギー若手人気歌手

7/22、雨天にも関わらずパリのFrancofoliesに出場するベルギー若手歌手ロイック・ノット(Loïc Nottet)を見に、多くのファンが詰めかけた。21歳の彼は、テレビ番組The Voice Belgiqueで歌手の道に入り、2015年のEurovision(ヨーロッパ歌唱コンクール)で自作の「Rhythm Inside」を歌い4位の成績を収めた。歌唱力だけでなくダンスにも長けており、ファンは増え続ける一方である。



ベルギー一番フライドポテト屋

コルトレイク(西フランダース地方)のDoorniksesteenwegにある「De Blauwe Frituur」が、ベルギー1のフライドポテト店(Best-Frit)に選ばれた。ベルギー200店以上のフライドポテト店が参加し、3万人のファンが投票に参加した。当店のスペシャルティーのタルタルソースとビッキー(Bicky)ソースもお勧め。
www.deblauwefrituur.be



100年前の惨事

1917年イーブルで起こったパッシェンデルの戦いで亡くなった兵士の没100年祭として、7/30、ベルギー国王、王妃とイギリスのウイリアム皇太子、ケイト皇太子妃出席のもと、式典が行われた。この戦いで32万5,000人のベルギー人兵士、26万人のドイツ兵士が命を落とし、4万人のイギリス兵士の遺体が未だ見つかっていない。イーブルの墓は、世界一の規模を持つ無名戦士の墓である。



さらにネットで情報キャッチを

8/3、ブリュッセル公共交通STIB/MIVBは、Facebookにて新たにBizet、Ceria、Eddy Merckx、Erasmus、La Roue、Saint Guidon、Schumanの7駅で、無料Wi-Fiが使えると発表した。これにより、地下鉄10駅でインターネットが使えるようになり、携帯電話を通して目的地までの道順をその場で検索できる。2017年末までには、全ての駅で使用可能になる予定。



また車道陥没

8/3、19h30ごろEtterbeek区のCornet通りの一部が突然陥没したが、幸運にも被害者はいなかった。これは、老朽化した下水道からの水漏れにより土が軟化して起こるもので、ブリュッセル市内では時々ありうる事故である。まず6m近くの下水道を修理してから穴を塞ぐため、通りの再開通には2~3週間必要という。